

## 新型コロナウイルス感染対策について ～いまいちど見つめなおしてみよう感染対策～

感染管理認定看護師

たかもと きょうこ  
高本 恭子

今般、新型コロナウイルス感染症の拡大（第4波）が続いているところです。5月には魚津市内でも発生を認めました。

今回の発生により市民の皆様も基本的な感染対策、3密（密閉・密集・密接）を避けること、マスクの着用、手洗いの励行、社会的距離の確保や会食時の留意事項などより一層、気を付けていることと思います。

さて、1年前の状況と違う点は何でしょうか。変異株とワクチンです。

### ～変異株について～

第4波と言われている今、変異株が大半を占めている状況です。

従来のものと比べて変異株は、感染力が高いこと、また重症化しやすいと言われています。



### ～ワクチンについて～

5月号の労災だよりも掲載されていますが、再度お伝えします。ワクチン接種のメリットは、病気に対する免疫（抵抗力）がつくられ、その人の感染症の発症あるいは重症化を予防できます。

それでは、国内承認後新型コロナワクチンについて分かってきたことを紹介します。

- ①感染症そのものを防ぐ効果がある。
- ②接種後1年程度は効果がありそう。
- ③変異株にも効果がありそう。
- ④日本人での副反応も想定内である。



このように、知見の結果からみて、ワクチン接種はメリットがあり、また変異株にも効果がありそうです。今後、多くの方がワクチン接種することで、感染者や感染による重症者が減ることが期待されます。

この記事が皆様の目に触れるころにはたくさんの市民の方はワクチン接種が済んでいると思いますが、まだ接種されていない方は是非ご検討ください。

さて、コロナ禍において『手洗い・マスクの着用・環境を綺麗にする。そして人混みを避けるなどの社会的距離の確保』など、これまでと同様の感染対策の継続は大切です。さらに、今後、人と人が幸せな距離を保てるよう一人でも多くの市民の皆様がワクチン接種をできるよう接種の推進を図っていくことも大切です。最後になりますが、こんな時代だからこそ『心の距離は密』にし、感染症に負けない地域づくりを一緒にして行きましょう。